

令和6年7月10日から12日にかけての大雨について(愛媛県の気象速報)

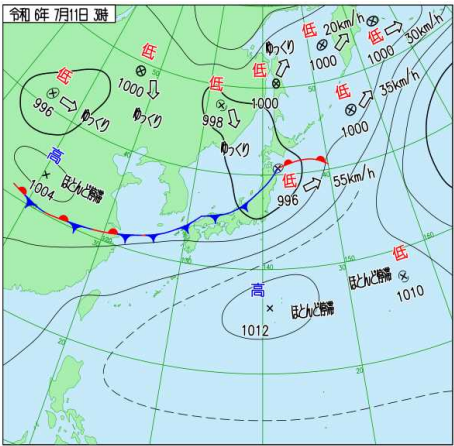
令和6年7月12日16時現在
松山地方気象台

【概況】

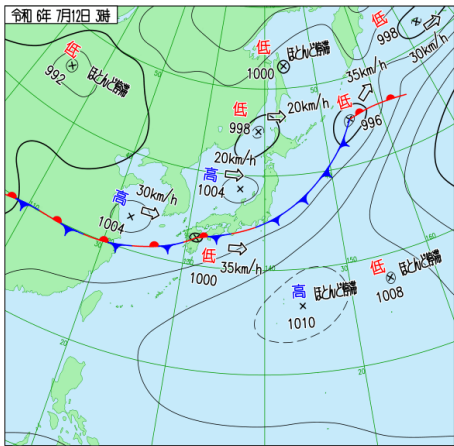
西日本に停滞する梅雨前線や前線上を東に進む低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、愛媛県では大雨となりました。

7月10日10時(降り始め)から7月12日14時までの降水量は多いところで、上林(東温市)で227.0ミリ、松山(松山市北持田町)で213.0ミリ、中山(伊予市)で209.0ミリを観測し、いずれも7月の月降水量平年値の約80~90%の降水量となりました。

この大雨により、松山市で土砂が住宅に流れ込む被害が発生し、3名が行方不明となりました(12日11時現在、愛媛県災害警戒本部調べ)。なお、今回の大雨により、松山地方気象台から松山市にJETT(気象庁防災対応支援チーム)を派遣しました。

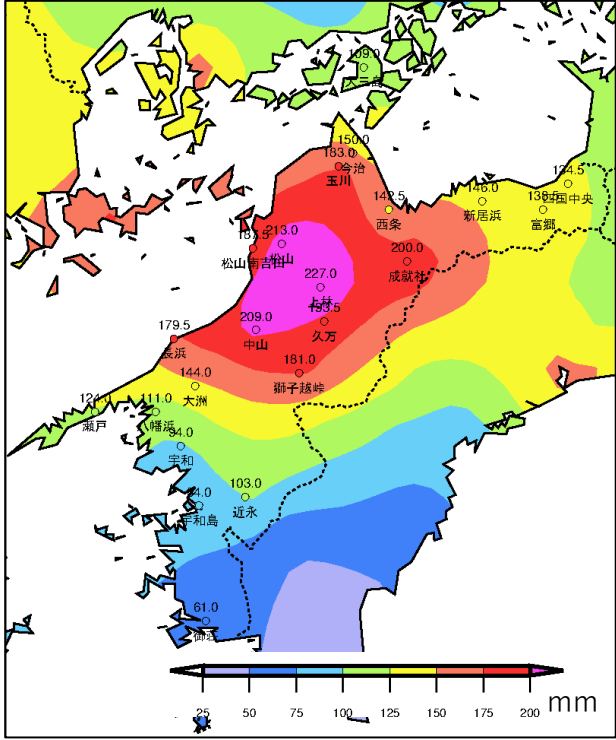


地上天気図 7月11日03時

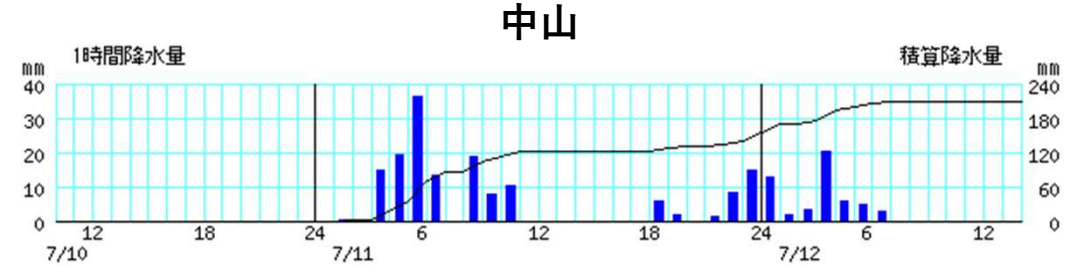
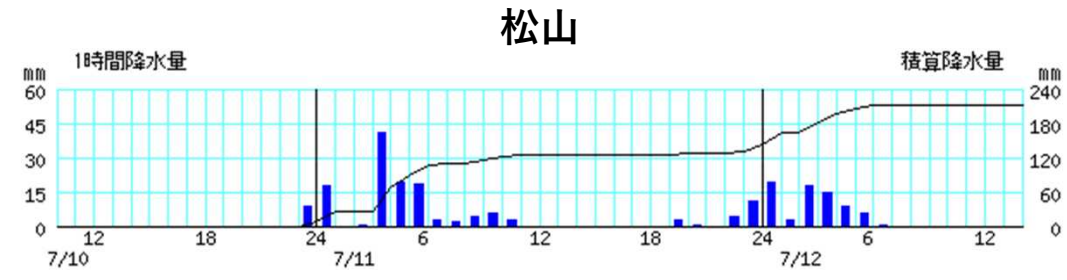
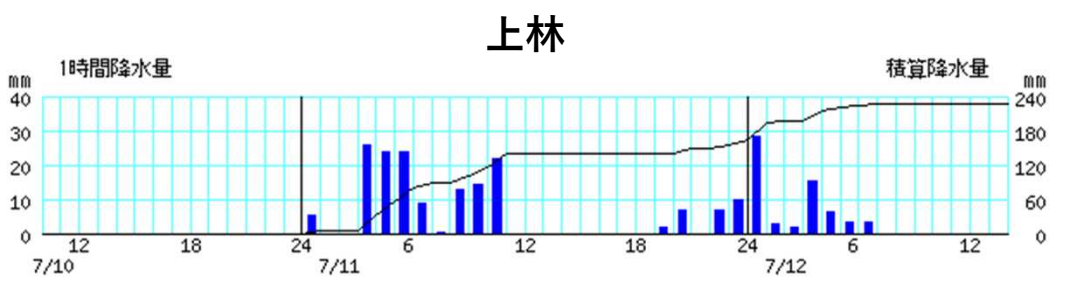


地上天気図 7月12日03時

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。



雨量分布図
(期間：7月10日10時～7月12日14時)



降水量時系列図 (7月10日10時～7月12日14時)

※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。
なお、横軸は時刻を示す。